

## 我がクラブの目指すところ (IM第7組)

### 大阪フレンドRC 会長 栗原 大

当クラブは会員数29名と少数ながら平均年齢が49歳と言う比較的若い会員が多いクラブです。しかしながらロータリー暦はまだ浅く、これから私を含めロータリーについて多くの事を学ばなければなりません。

今年度ガバナー方針の感動体験を！当クラブもテーマに掲げ、まず最前線で奉仕を経験することが、ロータリーの学びと感動を体験できると考えております。

そこで今年度は、秋のライラのホストクラブを務め、

社会奉仕活動にDGを使用し拡大させ、職業奉仕活動を公共的に解放し、GGを使用した国際奉仕プロジェクトを実行しております。

そして年度末には15周年とクラブは浅いながら節目の年を迎えます。当クラブはまだスタート地点にたったばかりと考えています。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

### 大阪御堂筋本町RC 会長 岡田俊作

大阪御堂筋本町RCは、大阪本町RC(1991年3月26日創立)と大阪御堂筋RC(1993年1月28日創立)が、2012年11月21日にRIの認証を得て合併致しました。2013年7月4日の合併披露例会を以って新しいクラブとして発足しました。生い立ちの異なるクラブの合併でしたが、一人の退会者もなく61名の中堅クラブとしてスタート致しました。

旧本町RCでは、青少年交換・WCSプロジェクト・医師を目指す高校生の病院見学会を長年に亘り実施して居り、旧御堂筋RCは、盲導犬育成事業への支援、東京大学との協力での遺伝子バンクの設立やスギ花粉によ

る花粉症を公害問題と捉え解決を目指す活動を展開する等それぞれ特色のある奉仕活動をして参りましたので、合併後は両クラブの蓄積した経験とノウハウを生かし、更なる領域を広げて社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の各分野に活動を展開しています。

亦、最近では「世界一国際的なロータリークラブ」を目指す活動にも注力して居ります。その方向を明確にして、会員増強に関しても、人種・国籍・宗教・性別に拘らない基準で増強に努め、幅広く優れたロータリアンを育てて行きたいと思っています。

### 大阪南RC 会長 小谷公穂

ご承知の様に、他の奉仕団体にはないロータリーの考え方として、まずは各自の職業を立派に遂行し、社会のお役に立つという職業奉仕があります。この事からすれば、どなたも日頃から職業奉仕を実践している立派なロータリアンと言ってもいいでしょう。そんな中、日々の仕事で、頭の痛む事も多いかと思いますが、互にホッと出来る時間も大切にしたいものです。

今年の我クラブの方針として“交わりと笑顔でロータリーを楽しく”とさせて頂きました。交わりの原点は例

会への出席であり、年齢、立場を越えて「皆話(かいわ)」を楽しんで頂く事です。

奉仕部門の理解をより深めて頂く為のクラブフォーラムも年5回、毎回50名を超える出席者があります。お食事とお酒で親睦も深まり、奉仕に向け一石二鳥の効果が生まれています。

お陰様で昨年は創立60周年を迎える事が出来ましたが、これからも親睦と奉仕を両論に活力あるクラブを目指したいと思っています。

大阪難波RC 会長

## 夏 明義

今年度、大阪難波ロータリークラブは、“誇れるロータリー”を目指しております。ロータリーの基本である、毎週の例会の充実や諸行事への参加意識の向上に努め、“調和と実行力”をもってクラブの運営を会員の皆様と共に作っていきたく思っております。

具体的に今期の主な活動は、

- ①奉仕と親睦の調和
- ②会員増強と勉強会開催等による退会防止
- ③F・V・P(未来の夢計画)によるプロジェクトの実行
- ④例会を中心としたクラブの活性化

をあげております。

F・V・P事業に取り組み、小学校と保育所へ放送機器や遊具を寄贈し、記念植樹を行ったことが、地元和歌山の新聞2社に掲載され、広報活動も併せて行うことができ

ました。

クラブ活性化の一つとして上期は会員増強に力を入れ、会員各位のご協力で6名の方が入会され、現在52名です。そして、特に充実した例会を行なおうと1分間ストレッチを取り入れ、リラックスして例会に出席していただき、食事や音楽も工夫しております。前半は親睦の時間、後半は奉仕の時間としての例会を目指します。

ロータリー暦の浅い会員の方も多くなっているので、勉強会をはじめ、奉仕や親睦の機会にできるだけ多くの会員の皆様に参加いただけるよう努力を続けて参りたいと思います。

後に、ロータリーをよく知っていただき、好きになり、そして、何よりロータリーを楽しむことではないでしょうか。

大阪なにわRC 会長

## 池側一司

当クラブは、1984年2月23日に大阪難波RC様をスポンサークラブとして誕生したものであり、今期クラブ創立30周年記念を迎えさせていただきます。

去年の12月1日(日)に式典・祝賀会をスイスホテル南海大阪にて地区の役員の方々、日頃お世話になっております7組の会長、幹事の方々、又姉妹クラブの国外のタイ国のバンケンロータリークラブの方々をお迎えして、豪華・絢爛とは言えませんが精一杯の式典、祝賀会を行

なわせていただき、わずかな、おもてなし、が出来たものと確信しております。

今回の30周年を通じクラブ会員全員が一丸となり、30周年の成功を目指し日々がんばっていただいた事に感謝すると共に、今後はロータリーの基本であります、奉仕活動におきましても、クラブ会員全員が一丸となり、がんばって行きたいと考えておりますので、地区、又7組の皆様よろしくお願い致します。

大阪南西RC 会長

## 小池廣子

大阪南西ロータリークラブは大阪南ロータリークラブをスポンサークラブとして創立し、お陰様で今期創立40周年を迎えることができました。

本年度は2月1日にインターシティミーティングのホストを務めさせて頂き、無事盛会裏に終えることができました。これもIM第7組のロータリアン皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

今期は創立40周年記念式典・祝賀会、IMホストと2つの大きな行事があり、これらの行事に向けて会員の心が1つになり、非常に良い雰囲気になってきました。

会員減少の防止と会員増強は各クラブ共通の問題ですが、当クラブは創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて、大阪南西ロータリークラブに在籍して良かった、と思える魅力あるクラブ創りを目指し

ております。

月1回、家族共々の食事会をしておりますが、これも少人数ならではの特色と自負しております。

地域での社会奉仕活動も毎年実施しております。西成区長、警察署長、消防署長、の皆様には毎年例会で卓話をして頂き、地域の現状をお話して頂いております。行政や地域の各種団体の皆様とも会合を重ね、その時々

## 大阪西南RC 会長 青木達也

当クラブは大阪南RCを親クラブとして、昭和44年に創立し本年45周年という節目の年を迎えました。

本年のクラブスローガンは「今、考動する事へのチャレンジヤー！」です。RI会長のロン・バートン会長がメッセージとして「ロータリーを実践して…」と御座います。

また、第2660地区福家ガバナーにおかれましては「感動の体験を！人々にも自身にも」と。ロータリアン同士で知恵を絞りそしてメンバー全員で行動する。初心に立ち返り、本年をスタート年度として全員で挑戦したいと思っております。その第1弾としてフィリピンターラックRCとの姉妹締結を結びました。場所的にはアキノ大統領のお膝元の地です。

## 大阪船場RC 会長 清水清一

我クラブは創立25年を経て、26年目の壮年期に入り、活動を実践する年と位置付けました。

そして活動方針を「自らの活動の中に達成感と喜びを共に分かち合おう」を合言葉に全員参加の使命を持ち地域においても世界においても認知される人道的奉仕活動を行うクラブを目指し、様々な活動プロジェクトを推進しております。

会員増強推進には26年目にして初めて女性会員の入

ニーズに即した事業展開ができるよう、コミュニケーションを深めております。

これからも地域の皆様のお役に立ち、また必要とされるクラブになるよう心掛けていく所存であります。

今後とも何卒よろしくご指導の程お願い申し上げます。

小学校には600名もの子ども達が元気に走り回っています。然し、トイレが無く衛生面でとても苦勞をされております。本年度我々はその修復活動から初めていき翌年そしてその次の年もしっかりと検証していきながら奉仕活動を続けて参りたいと思っております。

更に今後我クラブとしましては、会員数の安定そして増員を掲げて参りたいと思っております。昨年の11月度には101名と3桁の大台に乗りました。会員構成も老・壮・青ととてもバランスよく、世代を超えた交流が盛んとなってきております。

来るべく50周年には150名を目指して、同じ想いでロータリーライフを楽しめるメンバーと半世紀を振り返り、大いに大阪西南クラブを称えたいと思っております。

会、素晴らしいことだと思っております。

それぞれのプロジェクトは継続して実施していかなければならない活動も多くありますが、会員一人ひとりがそのプロジェクトの推進に責任をもって取り組んでもらっています。

又、IM第7組全体での共同活動を行う為に各組との交流を図り、ロータリークラブは一つであるとの信念の基、より具体的な活動を目指しております。

大阪心斎橋RC 会長

## 佐伯良一

会長を拝命し、自らにも言い聞かせる意味で「足るを知り、足るに感謝する心を持つロータリアンの集まりとして、和やかな中にも凛として品格あるクラブづくり」を目指して無我夢中で8ヶ月が過ぎました。IM第7組、地区の他クラブの皆様とも親しくお付き合いをさせて頂き、ようやくクラブを少し離れて見る余裕が出てきました。

RIの戦略計画では刷新性、多様性、柔軟性がキーワードとして謳われています。当クラブでも、委員会の横の連携や複数年にわたる施策の継続性等、新たな時代に

ふさわしいクラブづくりの必要性を痛感しております。新入会員、中堅会員、ペテラン会員がお互いに刺激しあい、ロータリアンとして成長し続ける。守るべきは守り、変えるべきは変える。時代を先取りした新たなクラブづくりを目指したいと思います。

来年度はIMのホストクラブを担当させて頂きます。一つのクラブでは出来ない夢を、複数のクラブが協力して実現する必要性もますます高まります。IM第7組の新たな可能性を皆様と共に考える場に出来ればと思います。

大阪うつぼRC 会長

## 岩根和加子

伝統ある当クラブの33代会長として、33名の会員の方々と、夜の例会を“楽しく絆を深める場”として、まず例会に出席すること、そして笑顔で話ができる例会を…と心がけております。

当クラブは、経験豊かなロータリー精神をしっかり心がけ実践してこられた先輩と、若い働き盛りの職業人で大変忙しい中、進んでロータリー活動を勉強・実践しようと意欲的に活動して下さる方々とが半々で、とてもまとまった素晴らしいクラブだと思っております。

しかし、強力な「野球チーム」もありますので、もう少し若いメンバーを増員しなければ「友呼び」をお願い

しています。ロータリーの伝統を守りながらも、時代適した柔軟な発想も受け入れ、入会した会員は「皆で育てる」を合言葉に、活性化した楽しいクラブ作りを目指しています。

新しい会員には、まず自分自身の職業において“職業奉仕”“四つのテスト”をしっかり受け入れ実践すること。そして、ロータリー活動も自ら進んで参加し、先輩との親睦を深め、「会員同士の相互扶助＝愛の輪作り」を基に奉仕の機会を共有できる…

その感動が豊かな人生の輪が広がるとお話しております。